

100均☆自然史グッズ巡回展

期間：2014年3月1日（土）～3月22日（土）

場所：貝塚市立自然遊学館多目的室

出展協力：NPO 法人西日本自然史系博物館ネットワーク

貝塚市立自然遊学館 巡回展 100均グッズで自然観察



倉敷市立自然史博物館で実施した巡回展(期間:平成25年3月15日～5月6日)

自然観察や生き物採集、標本づくりは自然を知る上で、また自然史研究を進める上で欠かすことができない基礎的なステップです。自然に興味のある子供や一般の方々ももっと知りたい、学びたいと思うのも、これらを体験するところから始まるのではないのでしょうか。しかし、その道具は専門的であるがために高価であったり、手に入れにくかったりすることが多く、それが障害となり自然への興味が薄らいでいる場合もあるかもしれません。

そこで今回の展示では、身近な100円ショップで販売されている商品を材料に、改良したり組み合わせたりすることで作製した自然史研究のための道具を紹介します。これにより自然観察が何となく難しそうと思っている皆さんの背中を押し、より多くの方々に自然の魅力に触れていただけるきっかけとなれば幸いです。

- 期 間：2014年3月1日（土）～3月22日（土）
- 開館時間：午前9時～午後5時
- 休 館 日：毎週火曜日
- 観 覧 料：無 料
- 場 所：貝塚市立自然遊学館
- 出展協力：NPO法人西日本自然史系博物館ネットワーク



特別展会場の様子 1



特別展会場の様子 2

巡回展示品一覧

採集用

三角紙収納用 CD ケース、吸虫管、洗濯ネットを利用したタタキ網、虫かご、捕虫網、ウミホタル採集キット

観察用

ピンセット各種、ルーペ各種、干物ネット、懐中電灯各種、はかり、ブラックライトで観察

標本用

マニキュアで植物観察、発泡スチロールを利用した展翅板、展脚板、ネット各種、コレクションケース、マイ標本箱、標本展示用薄型透明 CD ケース、密封タッパー

自然遊学館出品一覧

子供用フラフープを利用したコドラート（高田雅彦氏）
植物観察用ひっかけ棒（上久保文貴氏）

子供用フラフープを改造したコドラート

コドラートは生物の密度（例えば、 1m^2 に何匹いるか）を調査する時に使う道具で、ふつうは正方形のものを 사용합니다。でも、絶対に正方形でないといけないことはありません。ここで紹介するのは円形のコドラートです。

この商品をそのまま作ると直径（内径）が60.7cmになり、面積は 2894cm^2 になります。それでも 1m^2 あたりに計算し直すことはできますが、フラフープの直径を56.44cmに改造すると面積は、 $28.21 \times 28.21 \times 3.14 = 2500.596776$ になり、50cm×50cmの平方コドラートと同じくらいの面積になり、4倍すると 1m^2 当たりの個体数が簡単に計算できます。

和歌山県広川町の広川ビーチで干出時にこのコドラートを実際に使ってみました。コドラート内には大小合わせておよそ50個のコメツキガニの巣穴がありました（他のカニはとても少ない）。従って、干潮時には 1m^2 あたり約200個体のコメツキガニがせっせと砂団子を拵えていることとなります。なお、砂浜表面にみられる周期的なシマシマは、波が作った漣痕（れんこん）です。



高田雅彦（貝塚市立自然遊学館展示分）

樹木観察用ひっかけ棒

捕虫網が破れた時、破れた網は捨てて、周囲の針金を柄の付け根から8cmほどを残して切ります。8cmほど残った2本の針金を8字型に少し広げて、それぞれの先を曲げて、樹木の枝をひっかけられるようにします。樹木の葉を見て同定を確かめたいのに背伸びしても届かないという状況で、このひっかけ棒を使って枝ごと曲げると葉を見ることができます。2段継ぎの柄だと、届く範囲がさらに広がります。



上久保文貴（貝塚市立自然遊学館展示分）